

令和2年度 コミュニティ市民会議の取組状況

| コミュニティ組織名 | 市民会議委員(人数) | No | 開催状況 | 課題・テーマ | 内容・結果 | 今年度の市民会議の総括 | 会議運営上の課題 | 次年度以降の取組予定 |
|------------------------------|---|----|------------------------|--------------------------------------|---|--|---|--|
| 一中地区地域のふれあいを広める会【H23.12.1設置】 | 地区住民各部長 青色防犯パトロール隊 青少年相談員 少年指導員 児童委員 子育て・高齢者サロン 代表者 (16人) | 1 | 令和2年7月14日 | 買物困難者支援事業に係る本地域への導入 | 3月6日の一中地区まちづくり市民会議の方向づけを受け、6月22日の理事会で、「買物困難者支援事業に係る本地域への導入」について、市及び社会福祉協議会に、要望書を提出することとなった。 7月14日付けで、文書をそれぞれに提出。 | 「高齢者・子育て家庭の居場所づくり」、 「青少年非行防止・防犯ネットワークの構築」、 「災害時活用マップの整備」の3つの テーマの進行管理に努めた。 | | 令和2年度の事業を継続 |
| | | ★ | 継続事業 (毎月第1、第3月曜日開催) | 高齢者サロン「楽々亭」の運営 | 1 健康体操 2 レクリエーション(お手玉カーリング、ピンポン等) 3 季節の歌・なつかしの歌 合唱 4 食事会(テイクアウト) コロナ禍のため、3回の実施にとどまった。 食事提供数 90食、1回平均 20人の参加 | | | |
| | | ★ | 継続事業 (毎月第4火曜日開催) | 子育てサロン「遊々亭」の運営 | 1 自由遊び 2 出前保育(市子育て支援センター)※ 手作りの木製遊具あり(ブランコ、木馬等) コロナ禍のため、1回も開催できず。 | | | |
| | | ★ | 継続事業 (毎週土曜日実施) | 青少年非行防止、防犯ネットワークの構築 | 1 不審者情報のFAXIによる一斉送信(送付先:各自治会長等) 令和2年度は、3回送信 2 毎週土曜日の夕方、一中地区防犯パトロール隊(隊員149人)が、巡回パトロールを実施。 令和2年度実施回数 27回 延べ参加人数 108人 | | | |
| | | ★ | 継続事業 (毎月第1、第3水曜日開催) | 高齢者対象のヒップホップダンスの実施 | 高齢者の健康づくり、いきがいづくりを目的に実施。 令和2年度実施回数 7回 延べ参加人数 72人 | | | |
| 二中学区地域の輪をつくる会【H24.4.21設置】 | コミ組織理事 コミ役員 各部長 各自治会長など (21人) ※津田コミセン検討委員 会は、コミ役員 津田5自治会員 (10人) | 1 | 令和2年10月7日 | 市毛幼稚園経過・現状説明 | 市教育委員会施設整備課より経過と現状の説明があり、耐震補強若しくは改築は見送る結論が下されたことから、現在跡地利活用はしないという結論に達している。これを受けて二中学区では高齢者福祉施設等としての活用も含めて内容を検討して市へ要望することになっている。 | ・勝田二中自転車通学者見守りについては、自治会ごとに決定した点検場所及び配置人員を勝田二中に報告し実施している。 ・市毛幼稚園跡地利活用検討委員会については、市教育委員会総務課・施設整備課の出席のもと1回会議を開催した。 | 市では利活用しないと結論付けているところに、改めて利活用をお願いするには、市側に対し納得いくような要望書にしなくてはならないと考えている。 | |
| | | 2 | 開催時期未定 (次年度へ) | 要望書の内容検討 | コロナ感染症拡大防止のため開催日が未定。 | | | |
| 前渡を明るく住みよくなる会【H24.4.21設置】 | 自治会長 各部長 事務局長 (17人) | | 新型コロナウイルス感染症防止のため中止 | | | 高齢者世帯の自治会脱会を防ぐ方法の検討や、講演会などを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症防止のため、中止した。 | | 年度当初に検討テーマを設定し、それを遂行する。 |
| 佐野の和を推進する会【H25.4.15設置】 | 自治会長 コミ役員 部会推薦 (18人) | 1 | 令和2年6月11日 | 「3つのテーマについて」の話し合い | 「市への要望に対するフィードバック」「自治会未加入世帯への考え方」「資源回収の増量」の3つのテーマの提案理由の説明を聞き、今後の協議テーマとするかを話し合った。その後、市の出前講座を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。 | 今年度は、ひたちなか市における「ゴミの減量化とリサイクルについて」廃棄物対策課の出前講座により研修を実施。令和2年4月から稼働した水戸市の清掃工場の視察研修を予定していたが、県独自の緊急事態宣言延長により中止。 また、自然災害として戦後最悪の被害をもたらした東日本大震災から10年の節目を迎え、今なお余震が続いている中で、年月が経つにつれて当時を忘れてしまいがちだが、絶対に風化させてはいけない。10年を契機に改めて、防災・減災について地域で取り組む必要がある。 | 委員からの課題の提案については、自治会に関心の温度差があり、佐野地区全体もしくはひたちなか市として取り組む課題かどうか難しい。 | 委員から新しい課題を提案してもらい、その課題解決に向けて話し合いをしていく。 |
| | | 2 | 令和2年11月26日 | 「ひたちなか市におけるゴミの減量化とリサイクルについて」市の出前講座研修 | 「ひたちなか市におけるゴミの減量化とリサイクルについて」廃棄物対策課の出前講座によりひたちなか市が推進するゴミの減量化とリサイクルについて研修を実施した。 | | | |
| | | 3 | 令和3年2月24日 令和3年2月25日 | 「東日本大震災・原子力災害伝承館」福島県双葉郡双葉町視察研修 | 最新の「水戸市清掃工場えこみっと」を視察研修する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。その変わりとして、津波や原子力災害で被災した施設や復興の状況を双葉町の原子力災害伝承館において視察した。 | | | |

令和2年度 コミュニティ市民会議の取組状況

| コミュニティ組織名 | 市民会議委員(人数) | No | 開催状況 | 課題・テーマ | 内容・結果 | 今年度の市民会議の総括 | 会議運営上の課題 | 次年度以降の取組予定 |
|-------------------------------------|---|----|----------------------------|---|--|--|--|--|
| 大島コミセン地区 地域づくりの会 【H25.4.20設置】 | コミ役員 自治連大島支部理事 保健推進委員 高齢者クラブ 民生委員 青少年相談員 小中学校PTA役員 婦人学級 (20人) | 1 | 令和2年6月26日 | 実態調査のためのアンケート作り | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の新たな委員4名(引き継ぎ者)への委嘱状交付、顔合わせ(自己紹介) ・前年度の取り組み内容についての確認(自治会関連問題グループ、高齢者対策問題グループより会議録をもとに報告) ・アンケートの調査項目、対象者、依頼先、配布・回収の仕方等についての協議・検討(自治会関連問題グループ「自治会活動に関するアンケート」を自治会世帯数の30%を対象に実施。高齢者対策問題グループ「生活上の困りごと・悩みごと等についてのアンケート」を自治会世帯数を対象に実施<全世帯>。) | <p>前年度から、自治会関連問題と高齢者対策問題という2つの課題(テーマ)について協議・検討しながら取り組んでいる。今年度は、より地域の実態に即した活動にするために、まず、アンケート調査を行い、その分析結果をもとに自治会へ提言したり、行政に働きかけたりすることにした。</p> | アンケート調査については、理事会に諮り、検討したのち実施した。それでも調査内容が、「自治会活動に関するアンケート」「生活上の困りごと・悩みごと等についてのアンケート」と、どうしても自治会のあり方を問う項目も含まれており、報告する上でかなり難しい問題があった。特に、高齢者対策問題のアンケートでは、項目に挙げた、「ゴミ出し支援」「買い物支援」「送迎支援」「生活支援・その他」の取り組みが始まるという期待感をもった高齢の会員の方もおられ、報告内容を誤解されないようかなり慎重に練り上げるようになった。また、アンケート調査の内容検討から報告までにかなりの時間がとられ、具体的な取り組みまで進めることができなかった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本地区では、2年間の経緯を踏まえて、次年度からの市民会議のテーマ候補として提案されたものを参考に、新たなテーマや課題を選定して取り組んでいる。令和2年度は「自治会活動に関するアンケート」と「生活上の困りごと・悩みごと等についてのアンケート」により、実践的な活動を育てるための実態調査を行っており、できるだけその分析結果などを踏まえて、課題・テーマ選定にあたりたい。 ・先進地視察(候補地:柏市社会福祉協議会)<理由>たすけあいサービス等団体一覧を作成し、実践活動を行っている。 |
| | | 2 | 令和2年8月27日 令和2年9月25日 | <ul style="list-style-type: none"> ・自治会関連問題グループアンケートの取り方について ・高齢者対策問題グループアンケートの結果確認と今後の進め方について | <ul style="list-style-type: none"> グループ別協議(「自治会関連問題」8/27)(「高齢者対策問題」9/25) ・自治会関連問題グループ(8/27)第1回会議後に作成した「自治会活動に関するアンケート」の素案をもとに、依頼文、調査項目・内容についての加除修正、調査対象の範囲(自治会世帯数の30%世代間のバランスをとる)、配布及び回収の時期について確認する。 ・高齢者対策問題グループ(9/25)回収(配布は8/10)し、集計したアンケート(「生活上の困りごと・悩みごと等についてのアンケート」)の結果確認と今後の進め方(自治会にどう戻すか、また、分析結果をどう生かすか)について協議する。 | | | |
| | | 3 | 令和2年11月9日 | <ul style="list-style-type: none"> ・自治会関連問題グループアンケートの結果確認と対応策等について ・高齢者対策問題グループアンケートのまとめ方と今後の取り組みについて | <ul style="list-style-type: none"> 両グループより、アンケート調査票の回収状況と集計結果について報告を受ける。 グループ別協議(「自治会関連問題」、「高齢者対策問題」) ・自治会関連問題グループアンケート結果の確認、問題点と対応策の考察、記述回答の内容分析の素案をもとに協議・検討する。 ・高齢者対策問題グループアンケート集計結果のまとめ方及び今後の取り組み方[個別対応、自治会へつなげる(自治会への提案・協力依頼)、広報活動、行政への働き掛け、たすけあいボランティアのシステムづくり等]についての検討、自治会及び会員への現状報告をどうするか、また、市民会議としてのかかわり方について協議する。 | | | |
| | | 4 | 令和2年12月15日 | <ul style="list-style-type: none"> ・自治会関連問題グループ自治会及び会員への報告内容について ・高齢者対策問題グループアンケートの項目ごとの対応策について | <ul style="list-style-type: none"> グループ別協議(「自治会関連問題」、「高齢者対策問題」) ・自治会関連問題グループ前回の素案を加除・修正したものを再度確認し、自治会への提案内容について共通理解を図る。 ・高齢者対策問題グループ地域福祉課職員より「ゴミ出し支援」「買い物支援」「送迎支援」「生活支援・その他」の4項目において行政として現在考えられる支援の取り組み及び内容について説明を受ける。項目別にお互いに持ち寄った今後の進め方について擦り合わせを行い、その後、発表し合い、協議する。 | | | |
| | | 5 | 令和3年2月17日 令和3年2月22日(予定) | <ul style="list-style-type: none"> ・自治会及び会員への報告内容のまとめについて ・次年度の市民会議への提案事項について | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者対策問題グループ(2/17)自治会及び会員への報告内容について素案をもとに協議・検討する。 ・両グループの代表者による報告内容の擦り合わせ(2/22)お互いの報告内容の確認とリード文など統一すべきところについて協議する。 ※次年度の市民会議への提案事項をまとめ引き継ぐ。 | | | |
| 田彦中学区地域 づくりの会 【H24.4.14設置】 | 地域づくりの会会長 副会長 事務局長 自治会長 自治会副会長 (12人) | 1 | 令和2年10月1日 | スポーツを通じ、コミュニティの推進 | コロナ禍、健康でスポーツを通じ地域のコミュニティ活動の推進(地区グランドゴルフ大会開催) | <p>コロナ禍で十分な活動ができなかったが、 ①地区全体にかかわるテーマを意識して各自治会および関係組織と情報交換を実施 ②市総合基本計画(案)等を取り上げて計画内容の理解を深める</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動状況等の情報交換 ・市政諸計画の理解 ・地域課題等の認識・共有化 ・上記の活動を通じて地域役員の人材育成 | |
| | | 2 | 令和2年10月1日 | ・地域の活動状況等の情報交換 | <ul style="list-style-type: none"> ・各自治会活動の情報交換 ・地域の防犯活動等の情報交換(屋外に消火器設置等) | | | |
| | | 3 | 令和2年12月22日 | ・市政計画の理解 | <ul style="list-style-type: none"> 行政の長期計画の理解浸透と地域の問題点の認識 ・市総合基本計画 ・市都市計画MAP | | | |

令和2年度 コミュニティ市民会議の取組状況

| コミュニティ組織名 | 市民会議委員(人数) | No | 開催状況 | 課題・テーマ | 内容・結果 | 今年度の市民会議の総括 | 会議運営上の課題 | 次年度以降の取組予定 |
|------------------------------------|---|---|--|-------------------------------------|---|---|--|--|
| 湊中学区地域を 住みよくなる会 【H23.9.30設置】 | コミ役員 スポーツ推進員 民生委員 PTA役員 高齢者クラブ役員 部会員 (15人) | 1 | 令和2年10月1日 | ひたちなか市の地域福祉及び地域福祉推進体制整備事業について市から説明。 | <ul style="list-style-type: none"> 地域福祉推進体制整備事業について、現在、勝田二中学区で実施している「二中地区ふれあい会議」の状況について多くの質問があった。 地域福祉推進体制整備事業を推進して様々な人に入ってもらい話し合いの場を作るべきである。 当初、地域福祉推進体制整備事業を推進するのはこのメンバーでよいのではないか。 情報を共有し、地域支援をするためにみんなが集まり、つながる場づくりが必要である。などの意見があった。 次回は、実施するにはどのような形で実施できるか。また、どのような課題があるかなどを協議検討していく。 | <ul style="list-style-type: none"> テーマの「地域のモラル向上」については、その一環として今年度、あいさつ運動に関する標語を児童・生徒・一般から募集し、優秀な作品の表彰を行い、更に、その作品を印刷して学区内の公共施設等に掲示してあいさつ運動を推進するとともにモラル向上の第1歩とする予定であったが、世界的な新型コロナウイルス感染症の増加に伴い、感染予防のため中止し令和3年度に実施していく。 また、「高齢者対策」については、市からひたちなか市の地域福祉及び地域福祉推進体制整備事業について説明を受けるなどをして情報の収集に努めた。 これらの情報を基に、市民会議として地域福祉推進体制整備事業について実施するか否か。実施するとすればどのような形で実施できるか。また、実施するにあたってどのような課題があるか。など様々な角度で検討するため、1月から2月にかけて会議を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、現在、開催が難しい状況にある。 | | <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は、「地域のモラル向上について」の一環として学区内の住民をはじめ小・中学生等からあいさつ運動に関する標語を募集し、優秀な作品に対して表彰するとともにその標語を印刷して学区内の公共施設などに掲示をして、あいさつ運動を推進するとともに地域のモラル向上の第1歩とする。 ○スケジュール(案) 湊中学区内の住民や児童・生徒からあいさつ運動の標語を募集—7月～8月 優秀作品の決定—9月～10月 表彰式並びに標語の公共施設等への掲示11月～令和4年1月 「高齢者対策について」は、地域で支え合う体制を構築する「地域福祉推進体制整備事業」の設置を含めて日常生活圏(湊中学区)の中でどのような支援ができるかを検討していく。 |
| 平中学区明るい 地域づくりの会 【H24.6.1設置】 | コミ役員 コミ各部会長 各自治会長・副会長 (13人) 民生委員 青少年相談員 女性学級連絡会 学校PTA役員 観光協会 (21人) | 1 | 令和2年7月10日 | 本年度の事業計画の確認 | <ol style="list-style-type: none"> 市政懇談会要望事項の確認 地域住民に対し「まちづくり市民会議」参加協力の呼びかけ わかめ養殖についての理解と協力 足利市及び「まちづくり・いしだたみの会」を訪問し、学習する。 | 市民会議として取り組むべきテーマの絞り込みを行った。「まちづくり市民会議への参加協力の呼びかけ」と地域の活性化には何が必要なのかについて | 海をメインにした事業を推進するにあたり、若い世代の参画を含め、どうしたら地元を活性化できるか ◎キャッチフレーズは「平磯へ、海を見に行こう！」…外部から平磯へ遊びに来てもらう。 ◎海をテーマにしたイベントの実施を試みる。 ・「海の見えるカフェ」の設置・サイクリング大会の協賛・スケッチ大会の開催・郷土料理の提供(漁協や女性学級と連携) ◎地域おこしに参加・協力出来るメンバーの発掘 | <ul style="list-style-type: none"> 統合校に伴う阿中学区との行事を含めての統合に向けての推進 跡地利活用についても継続審議する。 |
| 2 | 令和2年10月10日 | 足利市への勉強会 | まちづくり活性化を進めて行くうえで参考にするため、歴史のある足利市の「観光振興」と「まちづくり委員会の活動状況」及び県と市の協働の在り方を学ぶ。参加者5名 | | | | | |
| 3 | 令和2年10月30日 | <ol style="list-style-type: none"> 足利市への勉強会の報告 わかめ養殖 「まちづくり活性化」に対する参加者及びアイデア募集(回覧)について | <ul style="list-style-type: none"> わかめ養殖 11月に平磯海水浴場に種糸を付けたロープを海に沈めたが、知識不足と相手先との情報の共有が出来ず、計画通りにいかなかった為ロープを回収した(失敗)。次年度に再チャレンジする。 11月25日「まちづくり活性化」に関心のある方、アイデアのある方、協力できる方への募集チラシを自治会加入世帯351組に回覧する。 | | | | | |
| 4 | 令和2年11月22日(書面会議) | <ul style="list-style-type: none"> 募集チラシで提案された3件の報告 次年度の活動計画(案) | <ol style="list-style-type: none"> 次年度の活動計画(案)の内容 例年11月実施の商工会議所主催のサイクリング大会への参加及び協賛について スケッチ大会の開催 わかめ養殖 市政懇談会の要望案件提出依頼 その他「鉄道イベント」等の協賛 | | | | | |
| 5 | 令和3年2月18日 | 市の観光振興課の担当者を招き「ひたちなか市の観光の現状」と「リゾート構想」等の研修会を実施 | 市民会議メンバー他役員、理事会委員にも出席してもらい地域づくりの会全員で共有(参加メンバー21名) | | | | | |

令和2年度 コミュニティ市民会議の取組状況

| コミュニティ組織名 | 市民会議委員(人数) | No | 開催状況 | 課題・テーマ | 内容・結果 | 今年度の市民会議の総括 | 会議運営上の課題 | 次年度以降の取組予定 |
|--------------------------------|--|----|------------|------------------------|--|---|--|--------------------------------------|
| 阿中学区明るく住みよい地域をつくる会【H24.4.21設置】 | コミ役員 自治会員 地区ごとの代表者(各地区2人) 小学校PTA役員(16人) | 1 | 令和2年7月18日 | 令和2年度まちづくり市民会議の取組みについて | <ul style="list-style-type: none"> 市民会議委員の顔合わせ 前年度からの継続課題の確認、今年度取組む課題の検討。 前年度からの継続課題「阿字ヶ浦小学校・中学校の跡地利用」についてのテーマに絞り込み市民会議を実施していく。 | 取り組むべき課題を統合校移転後の「阿字ヶ浦小学校・中学校の跡地利用」の1つに絞り込み、市民会議に取り組んだ。令和元年9月に阿中学区明るく住みよい地域をつくる会会長名でひたちなか市長あてに「阿字ヶ浦小学校及び中学校の跡地利用に関する要望」を提出した。令和元年9月に阿中学区明るく住みよい地域をつくる会会長名でひたちなか市長あてに「阿字ヶ浦小学校及び中学校の跡地利用に関する要望」に基づき学校施設跡地活用検討委員会での検討結果が示された。 | 「小・中学校の跡地活用について」の課題は、平中学区明るい地域づくりの会の市民会議においても課題としているため、情報の共有を図る。また、行政との協働事業として実施することを検討する。 | 「阿字ヶ浦小学校・中学校の跡地利用」の課題を継続して市民会議を実施する。 |
| | | 2 | 令和2年11月28日 | 「阿字ヶ浦小学校・中学校の跡地利用」について | <p>第1回阿字ヶ浦中学校跡地利用検討部会を開催(市民会議委員・コミュニティ役員・市職員)</p> <p>令和元年9月に阿中学区明るく住みよい地域をつくる会会長名でひたちなか市長あてに「阿字ヶ浦小学校及び中学校の跡地利用に関する要望」を提出した。</p> <p>この要望書に基づき市から学校施設跡地活用検討委員会での検討結果が示された。</p> <p>①地域交流センター(仮称)として利用するための手続きと施設の改修工事について(説明:教育委員会事務局施設整備課長)</p> <p>②阿字ヶ浦地区の指定避難所について(説明:市民生活部生活安全課長)</p> <p>③体育施設開放事業の引継ぎ等について(説明:教育委員会事務局総務課長)</p> <p>④跡地利用が始まるまでの施設の維持・管理について(説明:教育委員会事務局施設整備課長)</p> <p>⑤地域交流センターの施設運営体制について(説明:市民生活部市民活動課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理運営に関する主な業務 活用開始に向けた準備 開館日及び職員の勤務時間 運営経費 <p>⑥その他(駐車場・倉庫等)</p> | | | |
| | | 3 | 3月予定(次年度へ) | 「阿字ヶ浦小学校・中学校の跡地利用」について | <ul style="list-style-type: none"> 学校施設跡地活用検討委員会での検討結果を踏まえ、地域交流センター(仮称)管理運営にかかる体制(開館日数・職員の数等)の検討 活用開始時期について 本年度の取組結果報告及び次年度の計画について | | | |